

\*\*\*\*\*/  
**2024 年度第 5 回小学生向けバドミントン講習会**

主催：三鷹市バドミントン協会 共催：東京大学バドミントン部 GRABA

\*\*\*\*\*/

三鷹市バドミントン協会では 2024 年度小学生向け講習会を 6 回予定しており、第 5 回目として東京大学バドミントン部 GRABA(グラバ)との共催による講習会を開催いたします。

今回の講習会はバドミントンの技術の講習のみならず、お互いに考えていることを伝えあうという「コミュニケーション能力」の向上を目指し GRABA がプログラムした「コミュニケーションワーク等」を前半に行い、後半はバドミントンの基礎となるラケットワーク、基本ストローク等の講習を行います。

バドミントンのレベルは問いません。バドミントンに興味のある、体験をしてみたいという小学生は是非ご参加下さい。

学年により受付時間・実施時間が異なりますのでご注意ください。

1. 日 時 2024 年 12 月 1 日 (日)  
小学校 1～3 年生【受付 12 時 00 分～、講習会 12 時 15 分～15 時 00 分】  
小学校 4～6 年生【受付 15 時 00 分～、講習会 15 時 15 分～18 時 00 分】
2. 会 場 SUBARU 総合スポーツセンター 地下 2 階サブアリーナ  
(東京都三鷹市新川 6-37-1)
3. 講 師 東京大学バドミントン部 GRABA/三鷹市バドミントン協会 他
4. 参加対象 三鷹市在住、在学の小学生
5. 内 容 前半：コミュニケーションワーク等  
後半：ラケットワーク、基本ストローク、実践練習 など
6. 参加費 一人 500 円 当日支払い (シャトル代、会場費、保険代他)
7. 定 員 1～3 年生、4～6 年生の部共 先着 30 名 (定員になり次第締め切ります)
8. 申込期間 11 月 3 日 (日) ～ 11 月 24 日 (日)
9. 申込み方法 申込み方法
  - ・ 下記三鷹市バドミントン協会ジュニア担当ブログの申し込みフォームより申し込んでください。 <http://mtkbadjr.sblo.jp/>
  - ・ 申込時記入事項
    - ①参加者氏名、②参加者学年 (小 1～小 6)、③参加者バドミントン経験 (未経験者・経験者) ④保護者氏名、⑤住所、⑥連絡先メールアドレス

\*本申し込みに関する個人情報は「2024 年度ジュニア向けバドミントン講習会」のみで使用いたします。

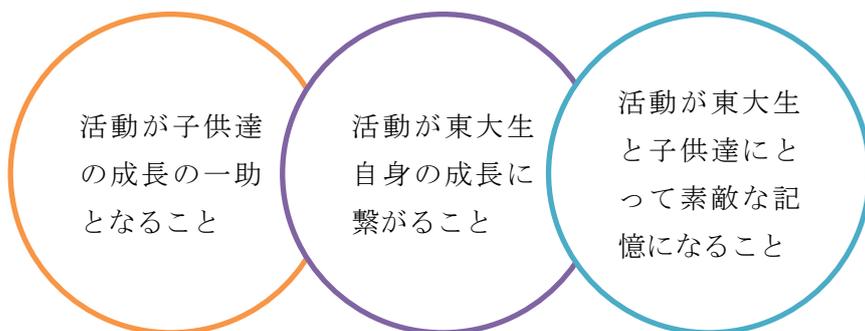
#### 11. その他

- ・ 当日はバドミントンのできる服装で、ラケット・シューズは各自でご用意ください。
- ・ シューズは、バドミントンシューズまたは、体育館で使用できるシューズでの参加をお願いします。
- ・ その他、SUBARU 総合スポーツセンターホームページを参照の上、施設利用のルールをお守りいただく様お願いいたします。

## 東京大学運動会バドミントン部 GRABA とは？

grandir (成長する)+badminton=GRABA

東京大学運動会バドミントン部の有志部員で、大学スポーツが地域社会に貢献できる取り組みとしてボランティア活動を行っています。



これら3つの活動理念に基づき、「コミュニケーション」や「気付き」などをテーマにしながら子供達と一緒にワークやバドミントンを行っています。

### これまでの活動実施例

・テーマ：「考えたことを言ってみる」（2018年8月実施）

メインのワークでは、2本のひもで作った傾斜をなるべく長い距離転がるようなペーパーローラーを、画用紙を使って製作してもらいました。3~4人のグループメンバーで話し合いながらアイデアを生み出すことを目的としました。それぞれのワークの後にはフィードバックの時間を設け、何を意識すればよかったかを振り返ってもらいました。

・テーマ：「夢を現実にするには」（2019年4月実施）

描いた夢を周囲に伝え、それを実現するために目標を立てて何から着手するかを一緒に考えました。アイスブレイクや体を動かすパートでも、「どうすれば上手くいくか」を考えることを意識してもらう工夫を散りばめました。

・テーマ：「お互いの言いたいことを理解するには？」（2023年1月実施）

言葉だけで情報を伝えることの難しさを実感し、バドミントンの練習の内外で使える言語化方法を考えました。また、バドミントン経験者の子が未経験者の子にアドバイスするようなワークを行ってそれを実践してもらいました。

GRABAの詳細は、東京大学運動会のホームページからご覧いただけます。

<https://grabahomepage.wixsite.com/website-1>